

## 令和5年度 公益財団法人さかた文化財団事業報告

### 事業方針

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、土門拳記念館及び酒田市美術館の管理及び運営を行い、それを通じ定款で定める目的達成のため、各事業を実施した。

土門拳記念館は写真家土門拳の残した功績と現代における作品の意義・魅力を新しい切り口で伝えることを柱に、酒田市美術館は、地域を支える美術館として近代及び現代美術作品を中心とする収集・展示や、市民の創作活動の発表の場を提供した。また、両館協力し、相互の幅を広げた連携企画として、山岳写真家「白旗史朗」の展覧会を開催した。

両館ともに、地域の文化活動の拠点としての役割、及び他地域から酒田市を訪れる契機となる施設としての役割を認識し、事業の質を担保しながら入館者増に努めてきた。

定款で定めた事業は、具体的には下記のとおり区分し実施した。

### 公益事業

土門拳記念館及び酒田市美術館での作品展示を中心に、市民の文化芸術等に関する活動等の支援及び育成、普及啓発、情報発信、交流及び協働の促進、資料収集、保存、調査研究等を実施する事業を行った。

#### I 土門拳記念館公益事業

- 1 土門拳作品展示事業
- 2 写真文化普及啓発事業
- 3 写真作品等保存管理事業
- 4 教育普及事業
- 5 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業
- 6 調査研究事業
- 7 施設（土門拳記念館）管理運営事業

#### II 酒田市美術館公益事業

- 1 展示事業
- 2 美術品保存管理事業
- 3 教育普及事業
- 4 酒田市美術館 PR 及び広域情報提供事業
- 5 調査研究事業
- 6 施設（酒田市美術館）管理運営事業

### Ⅲ 土門拳記念館・酒田市美術館 交流・協働促進事業

### Ⅳ 土門拳賞及び酒田市土門拳文化賞関連事業

- 1 「土門拳賞」受賞作品の展示・保存事業
- 2 「酒田市土門拳文化賞」募集選考及び受賞作品の展示・保存事業
- 3 写真文化普及啓発事業

#### 収益事業1 作品貸付事業

所蔵する作品を他美術館等の展覧会及び出版社やテレビ企画会社その他へ貸付提供し、収蔵作品を広く伝える事業を実施した。

#### 収益事業2 資料頒布事業

展覧会に関連する書籍や写真集、物品及びオリジナルグッズ等の販売事業を実施した。

#### 収益事業3 施設提供（貸館）事業

市民の創作活動の発表の場として、酒田市美術館市民ギャラリーを展示用備品と共に貸し出す事業を実施した。

#### 会議等に関する事項

##### 1 評議員会及び理事会について

令和5年度の評議員会及び理事会を下記のとおり開催し、全て原案どおり同意・承認・可決された。

##### (1) 評議員会

###### ① 令和5年度定時評議員会

- ・日 時 令和5年6月24日（土）13:30～
- ・場 所 酒田市総合文化センター412 特別会議室
- ・案 件

##### 《決議事項》

- 1 評議員の選任について
- 2 理事の選任について
- 3 公益財団法人さかた文化財団令和4年度収入支出決算について

##### 《報告事項》

- 1 令和5年度収入支出補正予算（第1号）について
- 2 公益財団法人さかた文化財団令和4年度事業報告について
- 3 土門拳記念館開館40周年記念事業について
- 4 故池田真魚館長理事への感謝状の贈呈について

② 令和5年度 第1回臨時評議員会

- ・日 時 令和6年3月24日(日) 13:30～
- ・場 所 酒田市総合文化センター412 特別会議室
- ・案 件

《報告事項》 ※令和6年3月9日開催 理事会決定事項

- 1 令和5年度収入支出補正予算(第2号)について
- 2 令和6年度事業計画について
- 3 令和6年度収入支出予算について

《その他》

- 1 令和5年度アンケート結果について
- 2 スクールプログラムについて

(2) 理事会

① 令和5年度第1回通常理事会

- ・日 時 令和5年6月10日(土) 13:30～
- ・場 所 酒田市総合文化センター412 特別会議室
- ・案 件

《決議事項》

- 1 令和5年度収入支出補正予算(第1号)について
- 2 公益財団法人さかた文化財団令和4年度事業報告について
- 3 公益財団法人さかた文化財団令和4年度収入支出決算について
- 4 令和5年度定時評議員会の開催について

《協議事項》

- 1 故池田真魚館長理事への感謝状贈呈について
- 2 土門拳記念館館長の選考方法について

《報告事項》

- 1 理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について
- 2 土門拳記念館開館40周年記念事業について

② 令和5年度 臨時理事会

- ・日 時 令和5年6月24日(土) 15:30～
- ・場 所 酒田市総合文化センター412 特別会議室
- ・案 件

《決議事項》

- 1 理事長の選定について

- 2 酒田市美術館館長理事の選定について
- 3 酒田市土門拳記念館館長理事の選定について
- 4 酒田市土門拳記念館学芸担当理事の選定について

③ 令和5年度 第2回通常理事会

- ・日 時 令和6年3月9日(土) 13:30～
- ・場 所 酒田市美術館市民ギャラリー
- ・案 件

《決議事項》

- 1 令和5年度収入支出補正予算(第2号)について
- 2 令和6年度事業計画について
- 3 令和6年度収入支出予算について
- 4 令和5年度第1回臨時評議員会の開催について
- 5 公益財団法人さかた文化財団事務局長の選任について

《協議事項》

- 1 土門拳記念館の呼称の使用について

《報告事項》

- 1 理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について
- 2 諸規程の改正について

《その他》

- 1 アンケート調査結果について
- 2 スクールプログラムについて

2 公益財団法人監査について

(1) 定例監査

①土門拳記念館

- ・日 時 令和5年5月22日(月) 14:30～
- ・場 所 酒田市土門拳記念館
- ・対 象 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

②酒田市美術館

- ・日 時 令和5年5月22日(月) 13:30～
- ・場 所 酒田市美術館
- ・対 象 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(2) 酒田市公の施設の指定管理者監査

- ・日 時 令和5年6月23日(金) 10:00～
- ・場 所 酒田市役所
- ・対 象 令和4年度

(3) 公益法人の運営組織及び事業活動の状況に関する山形県立入検査

- ・日 時 令和5年9月13日(水) 10:00～
- ・場 所 酒田市美術館及び酒田市土門拳記念館

# 令和5年度 公益財団法人さかた文化財団事業報告（詳細）

## 公益事業

### I 土門拳記念館公益事業

#### 〈概要〉

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市土門拳記念館の管理運営を行い、それを通じて芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的としている。

この目的を達成するための事業は下記のとおりである。

- (1) 土門拳作品展示事業
- (2) 写真文化普及啓発事業
- (3) 写真作品等保存管理事業
- (4) 教育普及事業
- (5) 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業
- (6) 調査研究事業
- (7) 施設(土門拳記念館)管理運営事業

令和5年4月から令和6年3月まで1年間の総入館者数は22,290人で、対前年度比3,199人増である。

来館者が県外客中心である当館においては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、ここ数年来館者数は低迷していたが、11月以降ようやく回復を実感することができた。

コロナ禍前の令和元年度と比較すると、7,148人の減で24.3パーセントの減となったが、入館料を増額したことから、前年度まで手当てされていたコロナ禍による減収補填のための酒田市から指定管理料の増額はなかった。

また、電気使用料金単価の急激な上昇による光熱水費の経費の増額に対応するため、前年度同様、指定管理料は増額された。

「土門拳の新しい作品はない。展示の切り口をどうしていくか。」という考えのもと、新たな視点での土門作品の展示、発信に努めた。

#### 1 土門拳作品展示事業

酒田市所蔵品である土門拳作品をテーマ別に構成する企画展示と、土門と他作家の組み合わせなどによる特別展示を実施した。

## (1) 特別展示

- ① 展覧会名 開館 40 周年記念「名取洋之助と土門拳—社会的写真を求めて—」  
会期 4月6日(木)～7月9日(日) 入館者数 6,194人

## (2) 企画展示

- ① 展覧会名 「古寺巡礼オールスターズ+立教開宗 1200 年・東寺特集」  
「土門拳記念館・酒田市美術館連携企画 田淵行男と白旗史朗—山岳写真の追求者たち—」  
会期 7月13日(木)～9月12日(火) 入館者数 5,084人
- ② 展覧会名 「古寺巡礼オールスターズ+マニアック・コレクション」  
「第 29 回酒田市土門拳文化賞受賞作品展 川眞田慶治『被爆ヒロシマの叫び!』」  
会期 9月16日(土)～10月23日(月) 入館者数 3,545人
- ③ 展覧会名 開館 40 周年記念回顧展「土門拳—肉眼を超えたレンズ—」  
「第 42 回土門拳賞受賞作品展 船尾修『満洲国の近代建築遺産』」  
会期 10月27日(金)～令和 6 年 1 月 14 日(日) 入館者数 4,200人
- ④ 展覧会名 「絵画と巡る土門拳—生誕 120 年・棟方志功とともに—」  
「土門拳賞コレクション 自然・動物写真の系譜」  
会期 令和 6 年 1 月 19 日(金)～3月31日(日) 入館者数 3,148人

特別・企画展示入館者数 22,290 人 (開館以来の入館者数 2,063,159 人)

## 2 写真文化普及啓発事業

第 29 回酒田市土門拳文化賞の選考委員会を実施し、授賞式と併せて土門拳記念館で受賞作品展を開催したほか、東京、大阪でも受賞作品展を開催した。また、第 30 回酒田市土門拳文化賞の作品を公募した。

さらに、全酒田写真連盟主催の土門拳杯写真コンテスト入賞作品の展示を開催した。

期日 6月9日(金)～6月14日(水) 場所 土門拳記念室

## 3 写真作品等保存管理事業

### (1) 原板を含む収蔵品整理保存事業

- ① 収蔵庫・各展示室に常時温湿度計を設置し、24 時間記録し室温管理に努めた。
- ② 土門拳写真原板(フィルム、ポジ)劣化対策と保存について、以下のとおり実施した。
  - ・ガス検知器による数値測定、原板状態の確認、収納
  - ・フィルムの包材交換
  - ・危険性が高い原板の経過観察(クリーンブース使用)

- ・「ヒロシマ」作品 1,120 点のデジタルデータ制作
- ・プリント収納箱へ有毒ガス吸着シート挿入

(2)ソフトウェアを利用した、収蔵作品資料の整理

「早稲田システム」のデータ項目補完入力作業を進めた。

4 教育普及事業

(1) ギャラリートークなど展示作品の理解を深める事業の実施

①特別展関連トークイベント

白山真理氏「<報道写真>は誰のもの? -1930 - 60 年代の社会的写真-」

・期日 5月27日(土) 参加人数 19人 場所 企画展示室Ⅱ

②第42回土門拳賞受賞 船尾修氏ギャラリートーク

・期日 10月28日(土) 参加人数 22人 場所 企画展示室Ⅱ

③学芸員ギャラリートーク

展覧会名	期日	講師	参加人数	場所
名取洋之助と土門拳 —社会的写真を求めて—	4/22(土)	当館学芸員	3人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
	6/17(土)	当館学芸員	9人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
「古寺巡礼オールスターズ+立教開宗1200年・東寺特集」 「田淵行男と白簾史朗—山岳写真の追求者たち—」	8/12(土)	当館学芸員	17人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
	9/2(土)	当館学芸員	8人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
「土門拳—肉眼を超えたレンズ—」	11/18(土)	当館学芸員	17人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
	12/16(土)	当館学芸員	7人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
「絵画と巡る土門拳—生誕120年・棟方志功とともに—」 「土門拳賞コレクション 自然・動物写真の系譜」	R6. 1/27(土)	当館学芸員	22人	主要展示室
	3/16(土)	当館学芸員	21人	企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ

(2) 外国語資料(8か国語)、建築資料、子供向け資料の配布

(3) スクールプログラムの実施(酒田市教育委員会主催)

市内の小・中学校を対象とした本事業では、土門拳記念館及び酒田市美術館における鑑賞



活動の充実を図ることにより、多様性を認める心豊かな子供たちの育成を目指すものである。

展覧会名	期 日	参 加 校	参加人数
「古寺巡礼オールスターズ+立教開宗 1200 年・東寺特集」 「田淵行男と白旗史朗ー山岳写真の追求者たちー」	7/13(木)	浜中小学校	20 人
「土門拳ー肉眼を超えたレンズー」	10/27(金) 11/10(金)	浜田小学校 新堀小学校	37 人 7 人
「絵画と巡る土門拳ー生誕 120 年・棟方志功とともにー」 「土門拳賞コレクション 自然・動物写真の系譜」	R6. 1/24(水) 3/12(火)	浜中小学校 第三中学校	23 人 30 人

(4) こども写真教室の実施

【こども写真教室】

・期日 4 月 29 日(土・祝) 参加人数 15 人 場所 土門拳記念館

【こども写真教室成果展】

・期日 5 月 1 日(月)～5 月 7 日(日) 場所 土門拳記念館エントランス

(5) 写真に対するの興味を広げる親子ワークショップの実施

【ピンホールカメラ体験教室】

・期日 7 月 23 日(日) 参加人数 親子 73 人 場所 酒田市総合文化センター

【ピンホールカメラ体験作品パネル展示】

・期日 8 月 5 日(土)～8 月 18 日(金) 場所 土門拳記念館エントランス

(6) 写真展「わたしのこの一枚」の実施

・展示期間 11 月 22 日(水)～12 月 3 日(日) 参加人数 101 人 場所 土門拳記念室

(7) 館内映像コーナー及び SNS による視聴覚教材の活用

(8) ミュージアムコンサート等、建物空間を生かす事業の実施

①期日 8 月 19 日(土) Xuan Neu(二胡&ピアノ) 参加人数 49 人

場所 主要展示室

②期日 10 月 22 日(日) 被爆ピアノコンサート 参加人数 50 人

場所 主要展示室

③期日 11 月 4 日(土) 三船しのぶ(ハンマーダルシマー) 参加人数 54 人

場所 主要展示室

④期日 令和 6 年 2 月 24 日(土) 朗読会「吉野弘の詩をよむ」 参加人数 55 人

場所 主要展示室

(9) 飯森山公園との連携

飯森山公園のあじさい開花の時期に楽之会の協力を得て「あじさい呈茶」を実施した。

・期日 7月1日(土) 参加人数 66人 場所 土門拳記念室

(10) 酒田市文化芸術関連事業への参画

SAKATART 展示「ミライニからはじまる、アートな酒田」参加

5 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業

(1) 開館 40 周年記念事業を実施した。

① 10月1日(日) 土門拳記念館入館料無料 ポスター無料配布 212人入館

② 10月1日(日) トークイベント開催 約100人出席

「記念館のこれまで&これから」 館長・田中学芸員

「弟子が語る古寺巡礼」 藤森武氏・堤勝雄氏

場所 ホテルリッチ&ガーデン酒田

③ 10月1日(日) 記念祝賀会開催 58人出席

場所 ホテルリッチ&ガーデン酒田

④ 酒田市からの受託により、B&G 財団の助成を活用したふるさと偉人マンガ「土門拳」を製作

ふるさと偉人マンガ「土門拳」製作活用検討委員会開催 3回

マンガふるさと偉人「リアリズム写真の巨匠 鬼の眼 土門拳」印刷製本、小中学校等  
無償配布 1,700部 記念館 HP 公開

⑤ フラワーアート in 土門拳記念館開催

土門拳記念館 作品展示 10月13日(金)~20日(金)

土門拳記念館周辺飯森山公園

10月14日(土) フラワーデモンストレーション インフィオラータ(ダリアの花の絨毯)

10月15日(日) クルマと花と君と 2nd

(2) 各媒体による展示情報等 PR 及び観光情報等を提供した。

(3) 年間入館券購入者へポイントカードを配布し、誘客を図った。

(4) 入館割引券付き酒田市広報持参者 2人まで半額を実施した。

(5) ミニギャラリーを実施した。

市民への土門拳記念館の周知のため、「土門拳記念館の新しい風」展と題して展示した。

・期間 令和6年3月12日(火)~3月19日(火)

・場所 酒田市役所 フリースペース東

(6) お年玉プレゼントを実施した。

・各日先着 10名にくじ引きで記念館関連グッズプレゼント、他ポスターをプレゼントした。

・期間 令和6年1月6日(土)~8日(月・祝)

(7) ホテル宿泊者優待券を発行した。

- (8) 酒田商工会議所女性会による傘福を展示した。
- (9) 酒田港寄港クルーズ船関係者を受入れるため、英訳キャプション及びあいさつ文を掲示した。  
4月4回 466人、11月2回 333人、計6回 799人

## 6 調査研究事業

### (1) 当館で開催した展覧会に関する調査

- ① 「田淵行男と白旗史朗—山岳写真の追求者たち—」展に関する調査を「田淵行男記念館」(長野県安曇野市)で行った。
- ② 「絵画と巡る土門拳—生誕120年・棟方志功とともに—」展に関する調査を棟方志功記念館(青森市)、青森県立美術館(青森市)、オンラインでの聞き取り調査を棟方氏の遺族から行った。

### (2) 当館での翌年度開催する展覧会に関する調査

- ① 2024年特別展「植田正治と土門拳—巡りあう砂丘—」展に関する調査を日本カメラ財団(東京都)、JCIIライブラリー(東京都)、国立国会図書館(東京都)、電話での聞き取り調査を植田正治写真美術館(鳥取県)から行った。
- ② 「民俗を写す」展に関する調査のため、秋田市文化創造館で行われた石川直樹×伊藤俊治トークイベントに参加した。

### (3) 土門拳作品全般に関する調査

- ① 酒田市立資料館が所蔵する土門作品の移管に伴う調査(酒田市立資料館)
- ② 土門の初期作品《最上谷直吉の肖像》に関する調査(酒田市 最上谷氏宅)
- ③ 土門作品や遺品に関する調査(東京都 土門拳写真研究所)
- ④ 土門作品新規プリント制作に関する調査(東京都)

### (4) 各地の写真美術館・写真展覧会などに関する調査

東京都写真美術館、岩手県立美術館、ジユド・ポーム国立美術館(パリ)など、出張先近辺での美術館等をできる限り訪問し、展示企画の参考にした。

### (5) 調査協力

- ① 東北芸術工科大学の原板に関する調査を受け入れた。
- ② フランス及びドイツで活動する日本写真史研究者ソニア・フォス氏の受け入れ

### (6) 講演など

- ① 東北公益文科大学 地域連携シンポジウム フィールドワーク・座談会  
「北前船の街・酒田を歩き、土門拳の画角で庄内の未来を撮影する会」  
6月19日(月) 舞娘茶屋 相馬楼 王学芸員

② 旅するミュージアム vol.1 土門拳記念館を知る/はじめての土門拳 — 酒田から始まる写真の旅—

7月14日(金) エプサイト東京(東京都) 田中学芸員

③ Possessed by Photography/The Legendary Master DOMON KEN

7月25日(火) The Photographers' Gallery (ロンドン) 田中学芸員

④ 写真の鬼・土門拳「肉眼を超えたレンズ」の裏側

12月9日(土) NHK文化センター仙台教室(仙台市) 田中学芸員

⑤ Art Cross Information Special Art Talk「土門拳記念館」

令和6年2月10日(土) クロステラス盛岡 田中学芸員・王学芸員

## 7 施設(土門拳記念館)管理運営事業

条例、規則、仕様書等に基づき、土門拳記念館の適切な管理運営を行った。

## II 酒田市美術館公益事業

《概要》

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市美術館の管理運営を行い、それを通じて芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的とし、下記のとおり実施した。

- (1) 展示事業
- (2) 美術品保存管理事業
- (3) 教育普及事業
- (4) 酒田市美術館 PR 及び広域情報提供事業
- (5) 調査研究事業
- (6) 施設(酒田市美術館)管理運営事業

市民の憩いの場として親しまれ、愛される美術館として、令和5年度は県美展を含め6回の特別企画展の実施を中心に上記の各事業を行った。土門拳記念館との連携企画として開催した山岳写真家「白旗史朗展」をはじめ、特にファミリー層を意識した特別企画展「サンリオデザイナーのおしごと展」は、入館者が16,000人を超えて好評を博した。また、情報発信ツールとしてのX(旧ツイッター)を活用し、リアルタイムな情報の発信に努め、美術館の魅力を伝えるなど来館者の増に努めた。

更に、令和3年度から取り組んできたスクールプログラム事業では、「石黒光二彫刻展」、「中島潔展」、「収蔵品展 アートトリップ!美術館で旅をしよう」の各展覧会において、小中合わせて14校、延べ910人の参加があり、教育普及の拡充にも重点を置いた事業に

取り組んできた。こうした取り組みの結果、全体的にはコロナ禍からの回復基調が見え、結果、令和5年度の総入館者数は、昨年度に比べ17.2%増の47,846人となった。

## 1 展示事業

展示事業は、収蔵作品による計画的な一般展示と、国内外の優れた美術作品の紹介、及び子どもにも喜ばれる展示を加味した特別展示の二本立てとして実施した。

### (1) 特別展示

#### ① 展覧会名 「熊谷守一展 いのちを描く」

会期 3月18日(土)～4月23日(日) 入館者数 2,224人

岐阜県恵那郡付知村出身の熊谷守一は、身近な自然や生き物などを単純な形態と明快な色彩で描き、「モリカズ様式」として呼ばれ、人々から親しまれてきた画家で、本展では、守一作品を多数収蔵する天童市美術館協力のもと、初期から晩年にかけて描いた代表作を含む油彩画や日本画など約75点を展示した。また、天童市美術館池田館長による講演会、熊谷守一の晩年の姿を撮影し続けた写真家藤森武氏や学芸員によるギャラリートークの開催、映画「モリがいる場所」の上映会やモリカズスケッチと題したワークショップも開催した。

#### ② 展覧会名 「心に山ありて幸いなりに 山岳写真家 白簾史朗展」

会期 4月29日(土・祝)～6月25日(日) 入館者数 3,830人

白簾史朗は、父が旧八幡町出身だったことから、鳥海山を「父の山」と呼び、足しげく通って多くの写真を撮影した山岳写真家で、本展覧会は、没後初となる回顧展として、下積み時代のバレエの舞台写真から、ヨーロッパ・アルプスやヒマラヤなどの世界の名峰、南アルプスや富士山、鳥海山などの日本の名峰、さらに尾瀬、高山植物などの写真を一堂に会した展覧会。会期中には、プロアドベンチャーレーサーの田中陽希氏の講演会や、株式会社「山と溪谷社」取締役の萩原浩司氏によるギャラリートーク、燕山荘グループ代表の赤沼健至氏の講演会、こどもの日特別イベントとして鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会の大野氏によるワークショップなども開催した。

#### ③ 展覧会名 「サンリオデザイナーのおしごと展」

会期 7月1日(土)～8月27日(日) 入館者数 16,114人

サンリオデザイナーの製作サイドに焦点を当て、サンリオのキャラクターが愛されるヒミツを大公開するという全国初の展覧会。初期のデザイン原画や制作秘話、グッズなどの貴重な資料を展示し、サンリオキャラクターの変遷をたどりながら長く愛され続けている秘密を探る展覧会。会期中には、キングシナモンが当館を訪れ、一緒に写真を撮ったりするグリーティングやシナモロールの素焼き絵付け作りのワークショップ、また、元いちご新聞編集長と元いちご

のお姉さんとのギャラリートークを開催したほか、サンリオカフェワゴンによるクレープや限定雑貨などを販売した。

④ 展覧会名 「石黒光二 彫刻展 一心・空間・かたち」

会期 9月2日(土)～10月22日(日) 入館者数 2,314人

石黒光二は、酒田市山谷（旧平田町）出身の彫刻家で、多摩美大卒業後、同市出身作家である高橋剛に師事し、1993年には、日彫展西望賞、2016年には、日展内閣総理大臣賞を受賞している。また、全国の野外彫刻も多数手がけ、中でも地元酒田に設置されている作品は、庄内の自然と人々の暮らしの中に溶け込み親しまれており、本展では、初期作品から近年発表された作品約50点を一堂に会し展示したほか、作家本人や学芸員によるギャラリートーク、彫刻作品を巡るバスツアー、身体表現ワークショップやデッサン会などのイベントなど多数開催した。

⑤ 展覧会名 「第78回県美展酒田巡回展・第65回こども県展」

会期 11月8日(水)～11月13日(月) 入館者 1,806名

本展は、今年で78回目をかぞえる県内では最大の公募展であり、県内在住の芸術家たちの創作発表の場として、長年地域の芸術文化の振興に大きな役割を果たしてきた。庄内地方からも毎年多くの入選者が出ており、酒田巡回展では、日本画・洋画・彫刻・工芸の4部門で入賞3人、入選42人、無鑑査・委嘱10名を含む42点が展示された。同時開催のこども県展では、297点の作品を展示した。

⑥ 展覧会名 「画業50周年 一瞬間の“煌めき” 中島 潔展」

会期 11月18日(土)～2024年1月21日(日) 入館者数 3,469人

四季折々の移ろいの中で郷愁を誘う子供たちを描いた「童画」で知られる中島潔氏。画業50周年を迎え、令和の時代を前向きに生きる女性の強さ、美しさを真摯に見つめ、新たなテーマとして「女性画」に取り組んでおり、伝統文化や芸能の世界において、柔軟な発想で新しい文化を創り出していく女性たちの姿を、大胆な構図と日本の四季を背景に、人生の「一瞬間の“煌めき”」として鮮やかに描き出した本展覧会は、特別出品として最新作「酒田舞娘」など約90点を展示し、会期初日には中島潔氏のサイン会、期間中、和菓子体験のワークショップなどを開催した。

(2) 一般展示

収蔵作品の中から、森田茂の「風景」「黒川能」、新田嘉一氏より借用した日本画作

品、及び高橋剛作品などを展示した。

一般・特別展示観覧者数	35,985 人	(開館以来の観覧者数 1,321,416 人)
市民ギャラリー観覧者数	6,012 人	
喫茶利用者数	5,849 人	
総入館者数	47,846 人	

## 2 美術品保存管理事業

- (1) 収蔵作品について、引き続きその状態調査を行い、美術品管理台帳の整備を進めながら、安全かつ適正な状態で保存するよう努めた。
- (2) 収蔵庫・展示室の温湿度管理  
収蔵庫・各展示室に常時温湿度計を設置し、24 時間記録し室温度管理に努めた。
- (3) 収蔵品の撮影  
新収蔵品を中心とした作品撮影を 20 点行った。

## 3 教育普及事業

### (1) ワークショップの開催

期 日	内 容	講 師	参加人数	場 所
4/16(日)	モリカズスケッチ	ふるせしおり氏 (作家)	11 人	各展示室
5/5 (金・祝)	化石はどこから来たの？写真の中にひそむ地球の不思議	大野希一氏(鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会事務局次長兼主任研究員)	16 人	各展示室
7/23(日)	シナモロールの素焼き 絵付け作り	武内治子(学芸主任) 井上瑠菜(学芸員)	24 人	ミーティング ルーム
8/13(日)			23 人	ミーティング ルーム
9/18 (月・祝)	からだでつながる鑑賞会	菊地将晃氏(ダンサー/ toall 代表)	15 人	市民ギャラ リー
9/23 (土・祝)	初めてのえんぴつデッ サン会	阿部昌子氏(アトリエ One 絵画教室講師)	5 人	ミーティ ング ルーム
9/25(月)	平日の美術館でゆった りデッサン会		4 人	各展示室
10/4(水)			5 人	
10/15(日)	彫刻体験ワークショッ プ	池田瑞穂氏(彫刻家、 石の会会員)	4 人	飯 森 山 公 園 もくもく館

12/10(日)	和菓子体験	おかしなおかしや	29人	喫茶モンマルトル
12/17(日)	美術館ボードゲーム「じつくりミレー」で遊ぼう!	当館学芸員	5人	ミーティングルーム

(2) ギャラリートークの開催

展覧会名	期 日	講 師	参加人数	場 所
熊谷守一 いのちを描く	3/19(日)	藤森武氏(写真家)	20人	各展示室
熊谷守一 いのちを描く	4/9(日)	当館学芸員	20人	各展示室
	4/22(土)	当館学芸員	18人	各展示室
心に山ありて幸いな 山岳写真家 白旗史朗 展	5/13(土)	萩原浩司氏 (山と溪谷社代表取締役)	65人	各展示室
	6/17(土)	小谷哲朗氏(白旗史朗 保存会) 当館学芸員	15人	各展示室
	6/25(日)	小谷哲朗氏(白旗史朗 保存会) 当館学芸員	20人	各展示室
サンリオデザイナーの おしごと展	8/11 (金・祝)	高桑秀樹氏(サンリオ いちご新聞元編集長) 加藤明子氏(元いちごの お姉さん、有限会社チアーズ 代表)	60人	各展示室
石黒光二 彫刻展 -心・空間・かたち-	9/2(土)	石黒光二氏(彫刻家)	46人	各展示室
	9/17(日)	当館学芸員	15人	各展示室
	10/8(日)	当館学芸員	10人	各展示室
	10/22(日)	石黒光二氏(彫刻家)	13人	各展示室

(3) 講演会・ミュージアムコンサート・サイン会・その他

展覧会名	期 日	内 容	講 師	参加 人数	場 所
天童市美術館収蔵品 熊谷守一 いのちを描く	3月18日 (土)	天童市美術館館 長 池田良平氏 による講演会 「熊谷守一を見 つめて」	池田良平氏	36人	市民ギャ ラリー



天童市美術館収蔵品 熊谷守一 いのちを描く	3月21日 (火・祝)	映画「モリのある場所」上映会		40人	市民ギャラリー
心に山ありて幸いな 山岳写真家 白旗史朗展	4/29 (土・祝)	益田幸郎氏講演会	益田幸郎氏	32人	市民ギャラリー
	5/3 (水・祝)	田中陽希氏講演会「鳥海山の魅力と日本三百名山について」	田中陽希氏	83人	市民ギャラリー
	6/4(日)	赤沼健至氏講演会「北アルプスの魅力と白旗史朗について」	赤沼健至氏 (燕山荘グループ代表)	65人	展示ホール
サンリオデザイナーの おしごと展	7/1(土)	サンリオカフェ ワゴンがやってくる！		279人	美術館 東側大駐車場
	7/2(日)				
	7/16(日)	キングシナモンと一緒に写真を撮ろう！		360人	エントランス
	8/19(土) 8/20(日)	サンリオカフェワゴンがやってくる！		293人	美術館 東側大駐車場
石黒光二 彫刻展 -心・空間・かたち-	9/2(土)	開会式		20人	エントランス
	9/3(日)	石黒光二彫刻作品を巡るバスツアー	ひらた文化祭実行委員会主催	25人	酒田市美術館・平田各所
画業50周年 一瞬間の“煌めき”中島潔 令和の心を女性に描く	11/18(土)	酒田舞娘演舞	酒田舞娘	19人	展示ホール
	11/18(土)	中島潔氏サイン会	中島潔氏 (日本画家)	22人	エントランス
新田嘉一コレクション 常設企画展-日本画の名品を中心に-	R6.2/18(日)	開会式	当館学芸員	50人	常設展示室Ⅱ

(4) 子ども美術展の開催

酒田飽海造形教育連盟と共催

令和6年1月31日(水)~2月12日(月・振休) 入館者 1,525人

(5) 教職員視察ウィーク

酒田市内の教職員に向けて、美術館や展覧会に対する理解を深めていただくため、

「教職員視察ウィーク」を実施した。本事業は、普段の授業での鑑賞学習や、校外学習での美術館利用の参考にさせていただき、学校と美術館の情報交換及び連携の推進を目的とし期間中は特別展・常設展ともに観覧料を無料としている。

展覧会名	期 日	参加人数
石黒光二 彫刻展-心・空間・かたち-	9月2日(土)~8日(金)	0人
画業50周年 一瞬間の“煌めき” 中島潔展 令和の心を女性に描く	11月18日(土)~24日(金)	3人
酒田市美術館収蔵品展 アートトリップ!	令和6年 1月27日(土)~2月3日(土) 休館日1月29日(月)除く	2人

#### (6) スクールプログラムの実施（酒田市教育委員会主催）

市内の小・中学校を対象とした本事業では、土門拳記念館及び酒田市美術館における鑑賞活動の充実を図ることにより、多様性を認める心豊かな子供たちの育成を目指すものである。3年目を迎えた本年度は、年間910名の児童・生徒が参加した。学校によっては、予習、ふりかえりの授業を実施し、授業内容の充実を図っている。

展覧会名	期 日	参加校	参加人数
石黒光二 彫刻展 -心・空間・かたち-	9/2(土) ~ 10/22(日)	黒森小学校、浜中小学校、南平田小学校	113人
画業50周年 一瞬間の “煌めき”中島潔展 令和の心を女性に描く	11/18(土) ~ R6.1/21(日)	浜中小学校、第六中学校	132人
酒田市美術館収蔵品展 アートトリップ!	1/27(土) ~ 3/10(日)	平田小学校、琢成小学校、十坂小学校、 西荒瀬小学校、富士見小学校、亀ヶ崎 小学校、一條小学校、松原小学校、泉 小学校、浜田小学校、浜中小学校	665人

#### (7) 子どもワークシートの活用

酒田市在住イラストレーターrikko氏にデザインを依頼し作成した「子ども向けワークシート」を活用し、スクールプログラム事業や来館者対象に配布し、美術館での過ごし方や、館内の紹介などに活用した。

#### (8) 連携事業

##### ①市との連携事業

##### ◆「いろいろな展 のぞいてみよう、アートの裏側」

・内 容 酒田市内の障がいのある方が制作した絵画、書道、造形物などを展

示するアート展。

- ・日 時 9月22日(金)～28日(木)
- ・会 場 出羽遊心館 料金/入場無料
- ・主 催 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議
- ・共 催 やまがたアートサポートセンターら・ら・ら、社会福祉法人酒田市  
社会福祉協議会
- ・協 力 中島友彦(アートディレクター)、酒田市美術館
- ・入場者数 754人

#### ギャラリートーク

- ・日 時 9月22日(金) 午前10時～11時
- ・講 師 やまがたアートサポートセンターら・ら・ら 武田和恵氏  
酒田市美術館 学芸主任 武内治子

#### ◆「石黒光二彫刻作品を巡るバスツアー」(平田)

石黒光二彫刻展開催中、平田地域に設置されたブロンズ像9体をバスで巡るとともに、当美術館で開催中の石黒光二展を見学した。

- ・期 日 9月3日(日) 9時～14:30分
- ・参加者 25人
- ・講 師 石黒光二氏

#### ②ミライニ(中央図書館)との連携事業

- ・「ミライニから始まるアートな酒田」(ミライニ主催)

酒田アートディレクターで、東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科教授原高史氏デザインのアートなポスターを当館に設置。同時に市内各所を回るスタンプラリーの設置場所として協力した。

期間/9月16日(土)～10月1日(日)

- ・「心に山ありて幸いなり 山岳写真家白旗史朗展」の連携企画として、会期中ミライニに白旗史朗関連書籍の紹介コーナーを設置した。

期間/4月29日(土・祝)～6月25日(日)

- ・「サンリオデザイナーのおしごと展」の連携企画として、ミライニにてサンリオいちご新聞元編集長高桑秀樹氏による講演会を実施した。

期間/8月12日(土) ①11:00～ ②14:00～

講師/高桑秀樹氏(サンリオ『いちご新聞』元編集長)

参加人数/①午前大人23人、小人7人 30人

②午後大人 13 人、小人 2 人 15 人

- ・「サンリオデザイナーのおしごと展」の連携企画として、会期中にサンリオ関連書籍の紹介コーナーを設置した。

期間／7月1日（土）～8月27日（日）

③鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会との連携

- ・「心に山ありて幸いなり 山岳写真家白旗史朗展」の連携企画として、鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会事務局次長兼主任研究員大野希一氏に白旗が撮影した作品の山々について解説キャプションを執筆していただいた。また、会期中、彫刻回廊に鳥海山・飛島ジオパークの紹介コーナーを設置した。

(9) 研修事業

- ①スクールプログラムの研修事業として、小・中学校の教員、教員 OB、庄内地区の学芸員を対象とした対話型鑑賞の研修を実施した。

- ・日 時 9月15日(金)15:30～
- ・対 象 酒田市内の小・中学校教員、教員 OB、学芸員
- ・参加者 13人
- ・内 容 ボードゲーム「じっくりミレー」を使った研修
- ・講 師 川口洋一郎氏（ちやがちやがゲームズ）

- ②一般社団法人地域創造による助成事業を活用し、公立美術館地域展開型研修事業（美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ）を実施した。

日 時	対 象	参加者	内 容	講 師
9/21(木) 10:40～17:00	県内の博物館 学芸員及び文 化施設に係る 職員	43人	文化施設の連携と職員 同士の交流の場づくり について	佐藤幸宏氏 (札幌芸術の森 美術館館長)  山田真規子氏 (目黒区美術館学 芸係長)

(10) 博物館実習研修、高校生インターンシップ、中学生職場体験学習受入れ

①博物館実習

博物館活動の一環として、大学及び大学院等で学芸員課程を履修する学生の博物館実習の受入れを以下のとおり行った。

- ・ 期 間 令和5年8月9日(水)～15日(火)  
※サンリオデザイナーのおしごと展期間中
- ・ 受講者 2名(大学生1名、社会人1名)

### ②高校生インターンシップ受入れ

就職希望の2年生を対象に職業観醸成を目的とした高校生のインターンシップ受け入れを以下のとおり行った。

- ・ 期 間 令和5年10月3日(火)～10日(火) ※石黒光二彫刻展期間中
- ・ 受講者 羽黒高校2年生1名

### ③中学生職場体験学習

学校生活では体験できない職業を体験することにより、働くことの喜びや厳しさを実感し、社会を支える役割を考えること等を目的とした中学生の職場体験学習の受け入れを以下のとおり行った。

- ・ 期 間 令和5年7月5日(水)～6日(木)  
※サンリオデザイナーのおしごと展期間中
- ・ 受講者 酒田市立第三中学校2年生4名

## 4 酒田市美術館PR及び広域情報提供事業

- (1) 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等へ出来るだけ掲載・放送してもらうよう積極的に依頼活動をした。
- (2) チラシ、ポスターによるPRにあたっては、新型コロナ感染拡大・予防のため、県内を中心に郵送にて配布した。
- (3) YouTubeチャンネルで美術館の外観、イベントの様子などを配信した。

### ①「石黒光二彫刻展」身体表現ワークショップ「からだでつながる鑑賞会」

- ・ 動画配信：12月8日(金)～ 視聴回数：129回
  - ・ 日時：2023年9月18日(月・祝) ①10:45～、②13:45～
  - ・ 出演：ワークショップ参加者の皆さん
  - ・ 講師：菊池将晃(ダンサー/toall代表)
  - ・ 企画協力：高橋幸介(ダンス制作者)
  - ・ 協力：酒田市文化芸術推進プロジェクト会議(事務局：酒田市文化政策課)
- (4) X(旧Twitter)を活用し、リアルタイムの情報を発信するように努めた。またXで、フォロワー対象としたプレゼント企画を実施した。

### ①中島潔サイン入り展覧会図録を8名にプレゼント

- ・ 対象：フォロワー

・条件：中島潔展の感想等をコメントする

(5) サンリオデザイナーのおしごと展会中に、「オリジナルステッカー」を作成し、ミュージアムグッズ購入者又は年間券購入者に配布した。

## 5 調査研究事業

収蔵作品、特別展の作品・作家その他に関する調査、研究

(1) 「熊谷守一展」開催の為、天童市美術館へ作品調査を行った。

(2) 「石黒光二彫刻展」開催の為、作品の調査、作家への聞き取りを行った。また、パンフレットを作成、来館者に無料配布した。

(3) 「山岳写真家白簗史朗展」開催の為、作品の調査、白簗史朗保存会へ聞き取りを行った。

(4) 執筆など

① 西日本新聞「つくる展 TASKO ひらめきをかたちに」3回連載 学芸主任 武内治子  
「驚きと発見子供にも」(3月21日)

「足で音と光 踏めばライブ会場に」(3月22日)

「香るオルガン 音程ごとに46の匂い」(3月24日)

② 山形新聞「提言：学芸員が学び集う場を」(9月15日) 学芸主任 武内治子

③ 図録『山岳写真家白簗史朗展』, 2023年, 一般社団法人白簗史朗保存会  
寄稿「白簗史朗の「山岳写真」について」 学芸主任 武内治子

④ 雑誌『山と溪谷』12月号付録

「白簗史朗 日本の名峰カレンダー」作品解説 学芸主任 武内治子

## 6 施設（酒田市美術館）管理運営事業

当館の維持管理業務

## Ⅲ 土門拳記念館・酒田市美術館 交流・協働 促進事業

毎月1回、合同学芸部門会議及び財団経営企画会議を開催し、各事業について情報共有、検討を行った。

### 1 共同連携企画展示事業

(1) 共同連携企画展

① 「山岳写真家 白簗史朗展」

没後初となる回顧展として、下積み時代のバレエの舞台写真から、ヨーロッパ・アルプスやヒマラヤなどの世界の名峰、南アルプスや富士山、鳥海山などの日本の名峰、さらに尾瀬、高山植物の写真を一堂に会した写真を展示した。

・会 期 4月29日(土・祝)～6月25日(日)

・場 所 酒田市美術館

## ② 「田淵行男と白旗史朗展」

日本における山岳写真家のパイオニアであると同時に高山蝶の生態研究などで体系的な仕事を残し、環境破壊への警鐘を鳴らしたナチュラリストの先駆者である田淵行男の作品約 40 点を展示するとともに、白旗史朗が四季折々の鳥海山で撮影した作品約 30 点を、異なる個性と時代背景を持つ二人の作品を多様な視点から展示した。

- ・会 期 7 月 13 日(木)～9 月 12 日(火)
- ・場 所 酒田市土門拳記念館

## IV 土門拳賞及び酒田市土門拳文化賞関連事業

### 1 「土門拳賞」受賞作品の展示・保存事業

毎日新聞社主催第 42 回土門拳賞の受賞作品展の実施及び受賞者ギャラリートークを実施した。

#### 第 42 回土門拳賞受賞者、受賞作品

- ・船尾修 『満洲国の近代建築遺産』
- ・収蔵作品 モノクロ 38 点
- ・展示期間 10 月 27 日(金)～1 月 14 日(日)
- ・受賞者ギャラリートーク 10 月 28 日(土) 参加人数 22 人 場所 企画展示室Ⅱ

### 2 「土門拳文化賞」募集選考及び受賞作品の展示・保存事業

#### (1) 酒田市土門拳文化賞選考及び受賞作品の展示・収蔵

##### ① 第 29 回酒田市土門拳文化賞公募及び選考等

- ・応募者数/点数 102 人(39 都道府県)/108 点(2,924 枚)
- ・選考委員 江成常夫氏、大西みつぐ氏、藤森 武氏
- ・選考委員会 6 月 9 日(金) 場所 酒田市総合文化センター
- ・授賞式(市主催) 10 月 1 日(日) 場所 土門拳記念館

##### ② 第 29 回酒田市土門拳文化賞受賞者、受賞作品

酒田市土門拳文化賞 川真田 慶治 (徳島県吉野川市)

「被爆ヒロシマの叫び！」(カラー 30 枚組)

奨励賞 若松 誠 (東京都大田区)「Esperanza(希望)―陽はまたのぼる」  
(モノクロ 30 枚組)

福岡育代 (東京都北区)「母へ捧ぐー中野・時景ー」(モノクロ 28 枚組)

卯月梨沙 (東京都)「幽明」(モノクロ 30 枚組)

##### ③ 第 29 回受賞作品の展示収蔵

- ・酒田市土門拳文化賞受賞作品 プリント 30 点 額装展示
- ・奨励賞 3 作品 一部額装及び アルバム展示
- ・展示期間 9 月 16 日(土)～10 月 23 日(月) 企画展示室Ⅱ、土門拳記念室
- ・巡回展 東京展 会期 11 月 7 日(火)～11 月 20 日(月) ニコンプラザ東京  
大阪展 会期 11 月 30 日(木)～12 月 13 日(水) ニコンプラザ大阪

- (2) 第 30 回酒田市土門拳文化賞作品募集開始  
 ・令和 6 年度選考及び受賞作品展を予定

### 3 写真文化普及啓発事業

酒田市土門拳文化賞友の会(歴代受賞者の会)と連携し、文化賞に関連する普及啓発及び情報発信を行った。

- ・9 月 30 日(土) 第 12 回酒田市土門拳文化賞交流会
- ・11 月 6 日(月)東京交流会・12 月 13 日(水)大阪交流会実施
- ・会報 12 号発行及び会員活動の情報発信等の協力

#### 収益事業 1 作品貸付事業

土門拳の作品を他美術館等の展覧会及び出版社その他へ貸付提供し、収蔵作品を広く伝えた。

- 1 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月貸付件数 56 件
- 2 館外での土門拳展(個展以外含む)
  - ① 「土門拳の古寺巡礼」展
    - ・会期 令和 5 年 3 月 18 日(土)～5 月 14 日(日) 場所 東京都写真美術館
    - 5 月 6 日(土)特別対談 内弟子が語る「古寺巡礼」 藤森 武氏×堤 勝雄氏
    - モデレーター 田中学芸員 180 人参加
  - ② 「写真家が捉えた昭和のこども」展
    - ・会期 4 月 1 日(土)～5 月 14 日(日) 場所 明石市立文化博物館(兵庫県)
  - ③ 「東日本大震災復興祈念 悠久の絆 奈良・東北のみほとけ」展
    - ・会期 4 月 15 日(土)～6 月 11 日(日) 場所 東北歴史博物館(宮城県多賀城市)
    - キュレーション、解説執筆、監修、学術調査立案・実施
  - ④ パリにおける「土門拳 日本のリアリズムの巨匠」展
    - ・会期 4 月 26 日(水)～7 月 13 日(木) 場所 パリ日本文化会館(フランス)
    - 展覧会協力
  - ⑤ 「広島記憶」展
    - ・会期 6 月 17 日(土)～8 月 27 日(日) 場所 泉美術館(広島県広島市)



- ⑥ 「真言宗立教開宗 1200 年記念特別拝観 東寺のすべて 土門拳東寺写真」展
  - ・会期 10 月 9 日(月・祝)～31 日(火) 場所 東寺(京都市)
  - キュレーション、解説執筆、監修、学術調査立案・実施、グッズ制作監修
- ⑦ 「写真家が捉えた昭和のこども」展
  - ・会期 令和 6 年 1 月 13 日(土)～3 月 24 日(日) 場所 栃木市立美術館(栃木県)
- ⑧ 「土門拳写真展 一女優と文化財 輝きは時代を超えて」
  - ・会期 令和 6 年 1 月 15 日(月)～3 月 22 日(金) 場所 ノエビア銀座ギャラリー(東京都)
- ⑨ 土門拳写真集の発刊
  - ・令和 6 年 1 月 東京書籍株式会社刊 『寺と仏像手帳』
  - 第 2 刷 1,500 部 印税 8% 211,200 円
  - ・クレヴィス 『土門拳の東寺』 4,000 部 印税 6%
  - ・みすず書房 台湾版 『死ぬことと生きること』(電子含)印税 6%

## 収益事業 2 資料頒布事業

### 1 サービス提供事業

#### (1) 観光情報の提供

酒田市観光パンフ、他館のチラシ、その他

#### (2) 物品販売

≪土門拳記念館≫

- ① 土門拳写真集や関連書籍、絵はがき、グッズなどを館内外で販売した。  
オリジナルカレンダーの制作、販売  
2024 年 土門拳写真の旅 「東大寺」 A2 サイズ 1,000 部
- ② 特別展や土門拳賞受賞作品展の関連写真集、書籍、グッズ等も館内で販売した。
- ③ 酒田市ふるさと納税の登録を継続した。

#### (3) オリジナルグッズの開発

≪土門拳記念館≫

新たに「土門拳 何んでも帖」を制作、販売した。

≪酒田市美術館≫

- ① 当館オリジナルグッズ(絵葉書、図録、マグカップ、クリアファイル、一筆箋)
- ② 図録、所蔵作品や作者関連の書籍、展示関連グッズ
- ③ 地元出版物で、本館で販売可能と思われるもの。

### 収益事業 3 施設提供(貸館)事業

市内外の美術愛好家（個人・団体）の発表の場、学習の場として、出来るだけ多く市民ギャラリーを開放するよう努めた。

「令和5年度年度市民ギャラリー入館者集計」参照